

二〇二二年度 一般選抜問題

国語総合 (時間60分)

※ 問題は指示があるまで開けないでください。

【注意事項】

- 1 解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。
- 2 問題冊子は13ページで、解答用紙は別になっています。不良の場合は手を挙げて知らせてください。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入してください。
- 4 試験終了後、問題冊子は各自持ち帰ってください。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、解答はすべて所定の解答欄に記しなさい。

努力の壁——頑張ってもできないことはある

1 育てやすい子とはつまり、素直な子どもだと言われます。でも世の中には、親が用意した道を順調に歩いてくれる子どもばかりではありません。別の道を歩もうとする子どもや、途中で立ち止まって動かない子どもも大勢います。

同じ年齢だろうと、発達の速度が違うので、立っているスタートラインも違います。性格も異なっていて飽きっぽい子がいればこだわりの強い子もいます。内向的な子どもを簡単に外向的にできるわけではありません。認知特性も異なります。漢字が得意な子ども、苦手な子どももいるので、練習すれば、**A**にすぐに書けるようになるわけではありません。でも考えてみれば、子どもは皆、違っているのが当然なのです。

イギリスの哲学者、ジョン・ロックはかつて「タブラ・ラサ(白紙)」という考えを唱えました。これはつまり経験論のことであり、子どもはみな生まれた時には白紙のような存在で、そこからの経験によって知識や能力が書き込まれていく、という考え方を指します。

でも白紙にも、実はいろんな種類が存在します。同じ白紙とは言え、ツルツルとしたインクを弾く白紙もあれば、和紙のように<sup>ア</sup>キユウスイセイの高いものもある。またサイズや形もさまざまです。それなのに、子育て本に書いてあることを真似すれば、それだけで子どもはすくすくと育つと考えるのは、白紙そのものに違いがあることを考えていないからにほかなりません。

親や教師が一所<sup>イ</sup>ケンメイ教えても、新しいことが書き込みにくい、あるいは小さな白紙を持つ子ではなかなか前に進みません。子どもも親の期待に応えるべく、努力していかないわけではないのですが、うまく進めなければ意欲も上がらない。そのうちストレスを感じ、時に、さまざまな問題行動に発展してしまふ。親の中にはその遅れを、子どもの「努力不足」と解釈し、強く叱る人もいます。その結果、子どもはさらにストレスを溜め<sup>モ</sup>、親に反発したり、自己否定したりするようになっていきます。

一方で書き込みやすい、もしくは大きな白紙を持つ子は、さほど努力することもなく、スラスラと書き込んでいきます。だか

からこそ、「子どもは皆同じで、努力すれば皆同じようにできるようになる」という考えが強い親子ほど、ほかの子のそんな様子を  
見て追い詰められていくわけです。

2 子どもに期待するのは悪いことではありません。でも、与えた課題が子どもに合っているのか、合っていないのかは、親から  
見てもなかなか分からない。

この場合の対処法としては、課題を与えたら、とにかくゆつくりと時間をかけて観察することが何より大切です。放っておい  
ても、自ら課題に取り組む子どももいるでしょう。嫌いだからこそ必死に取り組む子もいるでしょう。途中で逃げ出す子もいる  
でしょう。大人たちは、それを見ているだけでよいのです。

「努力」を求められれば、求められるほど、傷つく子が必ずいます。課題に適さない白紙を持っているなら、違った課題を与  
えましょう。そうすれば、少なくとも親子が傷つくことはありません。得意な分野を探し、そちらで努力すればよいだけです。

### 無理解の壁——「理解」できない行動にも「理由」はある

3 子どもが大人の常識とかけ離れた行動をとると、ほとんどの親は驚き、「言じられない！ 何でこんなことするのか！ 早くやめ  
なさい！」などと声を荒らげます。その行動の裏に、実は子どもなりの事情があるにもかかわらず、大人はそれを理解しようと  
する前に、まず声を出してしまふ。

私の知る例として、カーテンの中に入って授業を受けようとする小学校4年生のA君がいました。先生は「ウイスに座って授  
業を聞きなさい」と怒るのですが、彼はカーテンから出ようとしません。先生が怒れば怒るほど、クラスの子どもたちの目も  
「勝手なことをする変わった子だ」というものになっていきます。

そこでA君に「なぜ授業中にカーテンに入りたがるの？」とお母さんがたずねたそうです。すると彼は、「カーテンに入ってい  
たら、ノートを取らなくていいから」「そうしたら聞くことに集中できて、授業がよく理解できるようになる」「授業が分かった  
楽しい」と話したそうです。



習い事に一所ケンメイでも、**D**に伸びない子どもは必ず出てきます。

そんな子どもを前に、夢を託した親は、**E**強い圧力をかけがちです。抵抗できない子、もしくは頑張っても絶対に越えられない壁を前にした子は、受け身となり、自信と意欲を失っていくわけですが、それがさらに親のイライラを招いてしまう。

この時期、強く責められたことが心の傷となり、大人になって引きずる人もいます。パターン化した勉強や運動を強制されて、それには**才秀**でたとしても、自由に、能動的に動くことに強く恐怖を感じる人もいます。さらには親に反発して争いを招き、家庭内暴力に発展する家族もあります。これらの状況に至った場合、いずれにせよ、親が築いた壁が高すぎた、と言えるでしょう。

また、子どもの可愛さから過保護になる親もいます。

可愛いから、子どもの要求はできるだけ叶え、何もかも親が先回りしてやってしまう。その上で本当に優しい、争いを避ける親に育てられると、今度は、家の中にまったく壁のない状況ができあがってしまいます。

**あ**、罰は行動を**F**的に抑制するに過ぎませんし、褒めて育てることが良いと多くの子育て本には書いてあります。しかし、子どもは素直でおとなしい時ばかりではありません。多くの場合、わがままを言って暴れるので、叱らなければいけない時もあります。

電車で靴を履いたままシートに足を載せ、窓の外を夢中で眺める幼稚園児とその親がいたとします。その場合「やめなさい」と叱り、行動そのものをやめさせる親、「靴でシートを汚したらいけないよ」と**力諭**す親、「ほかの人に怒られるからやめようね」となだめる親、黙ってそっと靴を脱がす親と、対応は色々でしょう。

**い**親子の間に波風を立てずに収めるのは、そっと靴を脱がすことかもしれませんが、それでは、子どもは何も考えることなく成長してしまふ。**う**、先回りする親のせいで、壁がない生活が続いてしまうのです。それで、いざ学校や社会から強く注意されると、子どもが傷つき、泣いて帰ってきたと怒り、クレームをつける親もいます。

**え**そういう時には、どうしてそうなったのか、まずは子どもと**G**に考えてほしい。そして傷つけたいから注意さ

れたのではなく、必要だから指摘を受けたのだと受け止めてほしいのです。

**お** 過保護のために親子の意識が一体化していると、なかなかそうもいきません。だからこそ、どこかで親と子が別々に、客観的にその状態を眺める必要もあるでしょう。そうしなければ、何かあった際に、親子ともども追い詰められてしまいかねませんし、子どもは親がいない場面でも、大変に戸惑うことになります。

万が一、外の集団生活の中で指摘されて傷つき、そのまま家にキ籠もるようなことがあれば、状況はより複雑となります。

学校で不適応を起こした子どもを守るべく、必死に支え、生きる希望を失って死にたいという相手に寄り添い、ク機嫌をとるために好きなものを買って与えることで安定を保つことができても、それは閉じた安定の中で適応しただけです。もしその先で親から「自立しなさい」と言われる時がきても、本人はどうしていいか分からないから、暴れ出してしまいます。まして青年期に入ってしまったえば、修正はより難しくなります。

最近では80代に差し掛かった親が、50代の引きこもった子どものケメンドウを見ている、という現象が起きていて、「8050問題」などという言葉が生まれました。これなどは、子どもの頃に社会に弾き出された子どもを親が心配し、保護的に育てた結果なのでしょう。もちろん、ある時期がきたら自立するようにコ促すつもりだったのでしようが、その力は育たないまま、子どもはすっかり中高年になってしまったとも言えます。

内閣府などの発表によれば、中高年の引きこもりの数は、数十万人に至るとされていますが、その状況を見ても、社会に適合するため、子どもには6適度な壁を用意してあげることが重要だとあらためて感じています。

〈中邑賢龍「第一章 子どもの壁」『どの子も違う 才能を伸ばす子育て 潰す子育て』（中公新書）ラクレより〉

問一 二重傍線部ア～コについて、漢字にはひらがなで読みを、カタカナには相当する漢字を、楷書で書きなさい。

問二 

A
---

 ～ 

G
---

 に入る言葉を次から選んで、番号で答えなさい（以下、選択肢問題は、記号・番号で記入すること）。

① 一時

② 一律

③ 一緒

④ 一様

⑤ 一層

⑥ 一向

⑦ 一番

問三 

あ
---

 ～ 

お
---

 に入る適切な言葉を次から選びなさい。

① つまり

② もし

③ もつとも

④ 確かに

⑤ でも

問四 傍線部1「育てやすい子」について、文中で言葉を換えて説明しています。最も適切なものを次から選びなさい。

- ① 親が用意した道を歩こうとする子ども。
- ② 漢字が得意な子ども。
- ③ 親の期待に応えるべく努力する子ども。
- ④ 書き込みやすい大きな白紙を持つ子ども。
- ⑤ 傷つかない子ども。

問五 傍線部2「子どもに期待するのは悪いことではありません」と筆者は書いていますが、その時どんなことに注意すべきと筆者は考えているでしょうか。不適切なものを次から選びなさい。

- ① 子どもは皆、違っているのが当然と思うこと。
- ② 子どもがうまく進めないとき「努力不足」と解釈しないこと。
- ③ 「努力すれば皆同じようにできるようになる」と強く思うこと。
- ④ 子どもの課題への対処法を、じっくり観察すること。
- ⑤ 子どもの得意な分野で努力させること。



問六 傍線部3 「子どもが大人の常識とかけ離れた行動をとる」時、大人の掛ける言葉として、最も適切なものを次から選びなさい。

- ① 「言じられない！ 何でこんなことするの！ 早くやめなさい！」。
- ② 「イスに座って授業を聞きなさい」。
- ③ 「勝手なことをする変わった子だ」。
- ④ 「なぜ授業中にカーテンに入りたがるの？」。
- ⑤ 「ルールを外れたから悪い」。

問七 傍線部4 「いったい、誰がこんな答えを想像したでしょうか」と筆者が記したのは、どの「答え」に対してでしょうか。最も適切なものを次から選びなさい。

- ① 「カーテンに入っていたら、ノートを取らなくていいから」。
- ② 「そうしたら聞くことに集中できて、授業がよく理解できるようになる」。
- ③ 「授業が分かると楽しい」。

問八 傍線部5 「過干渉」が招く状況について、筆者はどのようなものを例示していますか。不適切なものを次から選びなさい。

- ① 頭の中に子どもの将来を思い描く。
- ② 子は、受け身となり、自信と意欲を失っていく。
- ③ 将来に向かって努力している時期、強く責められたことが心の傷となり、大人になって引きずる。
- ④ パターン化した勉強や運動を強制されて、能動的に動くことに強く恐怖を感じる。
- ⑤ 親に反発して争いを招く。

問九 傍線部6「適度な壁」とはどのようなものでしょうか。最も適切なものを次から選びなさい。

- ① 行動の抑制にすぎない罰。
- ② わがままを言って暴れるときなどの叱責。
- ③ 靴を履いたままシートに上がる子どもへ「他の人に怒られるから」というなだめ。
- ④ 靴を履いたままシートに上がる子どもに黙ってそっと靴を脱がす。
- ⑤ 学校や社会から受ける強い注意。

問十 「無理解の壁」を読んで、大人が子どもを理解するために必要なことを解答欄に書きなさい。

【二】 次の文の（ ）の箇所にとの語句を補えばよいのか、最も適切なものを、それぞれア～ウの中から選びなさい。

- 1 美術で使用する画用紙が（ア） 集配    イ 分配    ウ 配給）された。
- 2 社長の下命を（ア） つつしんで    イ あしからず    ウ あいにく）承った。
- 3 どうぞ、こちらの事情も（ア） ご拝察    イ ご診察    ウ ご賢察）ください。
- 4 野菜を（ア） 即製    イ 促成    ウ 速成）栽培している。
- 5 消防局では、いつでも出動できる（ア） 体制    イ 体勢    ウ 態勢）を取っている。

【三】 次の1～5は、目上の人やあまり親しくない人に対する言い回し（敬語）である。最も適切な表現をア～ウの中から選び、記号で答えなさい。

- 1 よろしければ、明日も（ア） お目にかかれませんか    イ お会いしていただけませんか    ウ 会ってくれない）でしょうか。
- 2 佐藤さんは、どのように（ア） お話になられ    イ お話され    ウ お話になり）ましたか。
- 3 ゆっくりピアノの練習を（ア） なさって    イ いたして    ウ なさられて）ください。
- 4 先生が、見本例を（ア） 拝見なさい    イ お見せください    ウ ご覧され）ました。
- 5 この商品は（ア） お求めになりやすい    イ お求めやすい    ウ お求めされやすい）お値段です。

四

次の傍線部のカタカナにあてはまる漢字を、それぞれ後ろの語群から選び、記号で答えなさい。

- 1 カミのご加護を信じる。
  - 2 事情をカミしても許されない犯行だ。
  - 3 舞台のカミ手には二階家がセットされていた。
  - 4 芋粥とは山の芋を中に切込んで、それを甘葛の汁で煮た粥で、当時は無上のカミとされた。
- (ア 加味    イ 神    ウ 嚙    エ 佳味    オ 紙    カ 上)
- 5 この勝負では渡辺九段がトウリヨウした。
  - 6 パウンドケーキはトウリヨウの小麦粉とバター、砂糖、卵を用いて作られる。
  - 7 雲霧仁左衛門は稀代の盗賊のトウリヨウと言われている。

(ア 等量    イ 当量    ウ 登領    エ 投了    オ 頭領)

- 8 前田先輩にはコウシともにお世話になっている。
- 9 武力のコウシは避けなければならない。
- 10 国語の時間に、作家の先生がコウシとなって物語について話した。
- 11 競技に出た馬は転倒でコウシを傷めてしまった。
- 12 古い町並みにはコウシ造りの家々が並んでいる。
- 13 外交使節の長である、大使に次ぐ外交官をコウシという。
- (ア 公使    イ 講師    ウ 公私    エ 格子    オ 行使    カ 公司    キ 広使    ク 後肢)
- 14 大阪の公共図書館には、大坂夏の陣の貴重なシリヨウが所蔵されている。
- 15 図書館で研究のためのシリヨウを探した。

(ア 史料    イ 試料    ウ 紙料    エ 資料    オ 飼料)

五

次の1～5の空欄に適切な漢字を入れて四字熟語を作りなさい。(A)漢字はア～コから選び、記号で答えなさい。また、(B)正しい意味をa～gから選び、記号で答えなさい。選択肢には使わない漢字や意味もあります。

1 一□来復

2 □象無象

3 温□知新

4 不□流行

5 無病□災

(A) ア 易 イ 古 ウ 息 エ 小 オ 故 カ 春 キ 陽 ク 有 ケ 変 コ 無

(B) a 学問や人徳をよりいっそう磨き上げること。

b 本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと。

c 病気せず、健康であること。

d 前に学んだことや昔の事柄をもう一度調べたり考えたりして、新たな道理や知識を見出し自分のものとする事。

e 冬が去り春が来ること。新年が来ること。

f 人や物事の成長や進歩を待ち望むこと。

g 形があるものも、ないものもすべて。ろくでもない連中のこと。

一

二

三

四

五

二〇二二年度 国語総合 解答用紙

氏名

受験番号

問九	問四	問三	問二		問一	
<p>子どもがルールを外れたときはその背景を探ることが当実            子も自分と違うルールを知りた、自分で理解し、行動をとる可能性が            り前、理解しておくこと。行動をとる可能性が            を理解しておくこと。</p>	4	あ	F	A	カ	ア
	問五	4	1	4	さ	吸水性
	3	い	G	B	と	性
	問六	3	3	7	こ	懸命
	4	う		C	こ	命
	問七	1		2	ク	ウ
	2	え		D	きげん	椅子
	問八	5		6	ケ	エ
	1	お		E	面倒	温
問九	2		5	コ	オ	
				うなが	ひい	

漢字2・仮名1

B	A
1	1
e	キ
2	2
g	ク
3	3
d	オ
4	4
b	ア
5	5
c	ウ

1\*10  
10

Blank boxes for answer

11	6	1
ク	ア	イ
12	7	2
エ	オ	ア
13	8	3
ア	ウ	カ
14	9	4
ア	オ	エ
15	10	5
エ	イ	エ

1\*15  
15

Blank boxes for answer

1
ア
2
ウ
3
ア
4
イ
5
ア

1\*5  
5

Blank boxes for answer

1
イ
2
ア
3
ウ
4
イ
5
ウ

1\*5  
5

35

Blank boxes for answer

3\*6 5\*2  
18 10

7\*2  
14

漢字2・仮名1  
15 100

65

Blank boxes for answer